

## 第6回「三世代をつなぐ駒カフェ」開催の報告

2021年11月20日(土)13時～15時、講堂において、在校生～保護者～OB 世代間 交流プロジェクト 第6回「三世代をつなぐ 駒カフェ (在校生対象)」が開催された。参加生徒は6名。このうちの4名が最後まで参加して、OBスタッフと一緒に疑問や質問に対して意見交換をすることができた。

また、旬な話題として、前日11月19日(金)の皆既月食について、月が完全に影の中に入ると、月が赤黒い色になって見えることなどをOBがご自身で撮影した写真のスライドで説明を行った。

**参加生徒** 6名(中1:4名、中2:1名、高1:1名)

### 参加者の感想

- ① 2回目の参加です。OBの方々の話を聞かせていただきました。今日も視野が広がるようなお話を伺いました。理論的に考えると世の中は様々な“穴”があり、とても面白かったです。シミュレーションの方法なども教えていただいて、とてもよかったです。
- ② 前々回に続き参加させていただきました。少し短い時間ではありましたが、OBの方とお話をさせていただき、楽しかったです。約60歳近く離れたOBの方と共通の趣味を持ち、話も盛り上がり、面白かったです。今回はありがとうございました。
- ③ 全然うまく話せなかったけど先輩方の話が面白かったので、行って良かったです。いろいろな人がいて知見が広がりました。
- ④ 今回は最後まで参加できませんが、次回は参加したいと思います。ありがとうございました。
- ⑤ 月食と日食の話がよかった。OBと話ができてよかったので、機会があったらまた来てみたいと思った。



### スタッフの感想

- ① これまでの6回の実施を通して、駒東生には、悩みながらも自分の道を切り開いていこうとするたくましさを感じました。グローバル化や科学技術が急速に進展するなかで、日本社会の同調圧力やガラパゴス化に負けることなく、自律した大人の社会人として巣立っていくことに、脇からですが「三世代をつなぐ駒カフェ」の一スタッフとして少しでもお役に立てればと感じています。

② リピート効果ははっきりとしてきたと思います。但し、一見順調に進んでいると思っても、生徒が聞きたい事を話しているという保証はないので要注意だと思います。確認しながら進みたいと思います。

今回は、講堂でしたので、横並びで話す事になり、大変話しやすかったと感じました。

③ 第6回駒カフェの前夜はお月様がほとんど欠ける素晴らしい天体ショーの当日でした。そこで、駒カフェに月食のテーブルを設えようと、スタッフの K さんに解説を依頼しました。スクリーンに映した月食の写真を見ながら進めた、自然現象と仕組みの話に生徒たちも聞き入っていました。ちなみに私は月食を知らずに、大学時代の悪友 3 爺との親睦会でした。神楽坂のビルの隙間に月を見ることはできませんでしたが、駒カフェで生徒さんと一緒に月食を楽しむことが出来ました。心理学を学んだ私にとって、学生時代から K さんは、自然科学とコンピューターの指導者でした。博識の友人を持つことは自分の能力が何百倍にも拡大することは常々実感しています。今回の駒カフェも、充実して楽しいものでした。

④ 今回は中1の○君とゆっくり話ができた。彼との出会いは二度目で共通の趣味が落語 そこから会話がひろがった。彼は駒東生の多くがそうであるように“賢い”。自分を客観的に表現できる。楽しい時間だった。そんな彼に私は何か与えられるものがあるのだろうか。典型的駒東生に欠けているものは何だろうか。心の豊かさ 共感する心 一つの物差しで人間を見ない 人間の弱さを実感できる・・・文学 芸術 演劇など 生きていくうえで役に立たないと思われるものの楽しみを持ってほしい。そんなことに少しでも力になればと思った。

⑤ 第6回駒カフェの前日(2021.11.19)夕方に、ほぼ皆既になる部分月食(食分97.8%、東京では18時2分)が見られました。駒カフェのスタッフ Kr さんから、月食を話題にしたいという提案(指令?)をいただきました。地平線の低い月の位置は、大気の影響が大きい上、かなり雲が出ていました。条件が悪いので、カメラだけで撮影に望みました。幸い、雲を通して僅かに顔を出した「赤い月」を撮影することができました。撮影条件の良かった皆既月食(2014.10.08)と、皆既日食(2019.07.03)の写真をご紹介しました。なぜ、皆既月食では「赤い月」になるのでしょうか。皆既日食では太陽コロナが見えることなどが駒カフェの話題になりました。観測データは、真実を表しています。先入観にとらわれずに、確証を持てる知識を組み合わせ、推理と実証を重ねる。現象を良く見て、納得の行く推理をす



ることで、真理に近づくことができる。その推理を観測で裏付けることを積み重ねれば、真実に到達でき、更にその先の新しい疑問に出会い、さらにその解決で、またその先に進めます。

今回の駒カフェでは、天文現象を「きっかけ」に、話の弾む雑談の場でした。また、お会いしましょう。

#### 追記

その夜、月は天頂に近い高い位置を通っていました。一方、晩秋の太陽軌道は、低くなっています。日食や月食は、軌道の交差点で 2 つが会う現象です。昔から世界各地で軌道が観測されていた記録があります。古事記の天岩戸の事象、渋川春海の貞享暦への改暦、なども日食（月食）が係っていたとの解説を見ます。今回の筋書きを作られた Kr 氏とは、その後、樫原、明日香の真東に位置する伊勢神宮の位置を決めるのに、倭姫命が鏡を使ったから、鏡は神器となったと思うなどと、2 人だけの駒カフェを開きました。今後は、歴史、地理にも話題が広がることを確信した第 6 回駒カフェでした。

- ⑥ 初めての参加者は、最初は緊張気味ですが、徐々に表情が和らぎ、笑顔で OB たちと意見交換をすることができています。2 度目の参加者は、OB たちと今回はどんな話をしようかなと楽しみにしているようでした。参加者は少人数ですが、対面で会話をすることでお互いに新たな気づき発見がありました。参加人数が増えたときは今までとは異なる形式にするかを模索中です。

#### 【第 3 学期の駒カフェ開催予定】

2022/1/22(土) 第 8 回駒カフェ（生徒対象）

2022/2/12(土) 第 9 回駒カフェ（生徒対象）

2022/3/19(土) 第 10 回駒カフェ（保護者対象）



「三世代をつなぐ駒カフェ」運営事務局

代表 黒岩 誠（駒場東邦 7 回生 / 前スクールカウンセラー）

平野 勲（駒場東邦中学高等学校 特別顧問 / 前校長）

連絡先 [komacafe1540001@gmail.com](mailto:komacafe1540001@gmail.com)